



ブランドを守り継ぐ「日之浦ごいも」農家衆



後列左より 池田 清彦さん(74才) 山本 充喜さん(78才)
沖野 芳則さん(77才) 本谷 毅さん(71才)
前列左より 岩田 博公さん(67才) 寺垣内輝雄さん(91才)
本谷 勲さん(91才) 岡本 正昭さん(69才)
寺垣内浜登さん(75才)

美しい湾と田園が広がる「日之浦」。ここは小芋の生産が有名な地区で、現在9戸の農家がブランド「日之浦ごいも」を育て出荷しています。戦前、広の石内から種を導入し、仕形(現在のグリーンピア)から栽培が始まりました。「昔は狭い山道のみで、まさに陸の孤島。船で野菜を三津口や竹原などへ売りに手伝ってましたよ」と寺垣内浜登さん(75才)は不便な地であった頃の思い出を語ります。肥料配分や水分、畝幅で生育が変化し連作もできないことで、各農家さんは試行錯誤を繰り返してきましたが、今は約6反も栽培されています。「ここは土壌と水はけが良く小芋に適しとります」と本谷勲さんは91才ですが今も現役です。

日之浦産は煮物にしても形崩れせず、しっとりした口当たりと白く美しい姿が特徴。おせち料理にも重宝され、市場で高く評価されています。3月下旬頃に種を植え、8月下旬から翌年4月までの長い期間で収穫します。育成中に親芋・中親芋・孫芋と分かれ、一番美味しいのは孫芋だとか。沖野芳則さん(77才)は、今年の初物を収穫中。「全て手作業で重労働ですが楽しみにしている人がいますから!」と汗を拭いながら夫婦で収穫していました。高齢化と担い手不足の中、生産量は最盛期の3分の1となりましたが、ブランドを絶やすことなく、9人衆は美味しい小芋を消費者に届けていきます。



日之浦の小芋畑



収穫する沖野さん夫妻



JAふれあい市(安浦・安芸津)、日之浦朝市、呉市内のスーパーで購入できます

日之浦ごいもが食べられるお店 潮家安浦本店



日之浦産「小芋のコロッケ」定食



日之浦産のオーナー 池田佳幸さん クリーミーで美味です!

三津口の伝統料理 冷や汁「さつま」

魚と味噌を使った漁師料理で、鹿児島から伝わった通説から「さつま」と呼ばれています。三津口で昔は「タナゴ」がよく捕れ、焼いてほぐし、焼き味噌と出し汁でのばしたものを温かいご飯にかけて食べていました。

冷や汁「さつま」は統一されたレシピはなく、それぞれの家庭で作り方がありました。近年は食卓に出ることが少なくなった伝統料理ですが、安浦郵便局前の居酒屋「月齢」で復活し、食べることができます。



三津口伝統料理 冷や汁「さつま」定食

- 冷や汁「さつま」定食 650円(昼のみ)
- 地魚・地酒 月齢(げつれい) 中央 1-1-13 ☎84-2550
- 営業時間: 11:30 ~ 14:00 / 17:00 ~ 22:00
- 定休日: 木曜・第3日曜
- ※今なら「TANTO」見たよ!と声をかければ小鉢1品をサービス!(9月末まで)

安浦町まちづくり協議会の事業 夏の思い出

■ひまわりの迷路

安登岡谷地区の休耕地に植えたひまわりが予定より早い7月下旬に満開を迎え、迷路を開放。国道から見える花に反響を呼び、町内外からたくさんの方が訪れました。



安登小学校児童と迷路体験しました

■野呂川自然観察会

8月17日(日)野呂川ダム公園で、広島大学の協力により開催し30名が参加。溪流釣りでは、釣れるたびに大歓声。昼食はいなし特製カレーが振る舞われました。



- やすうらたんと路を開催 安浦を知らう!学ぼう!をテーマに開催。ぜひご参加下さい。
- 三津口歴史探訪(コース:三津口西部・水尻・稚児明神ほか)
- 日時:平成26年9月20日(土) 集合:安浦市民センター 8時30分まで
- 参加無料、定員30名まで 徒歩・車・船で各名所を巡ります。
- 問合せ:安浦町まちづくり協議会 ☎84-2261 山田まで



踊り継がれる盆踊り

各地区には亡くなられた人を供養するため、「口説き」歌と太鼓に合わせて夜遅くまで踊る、盆踊りがみられます。

盆踊りは、本来死者の霊を迎えて慰めるために奉納する踊りでしたが、現在は地区の娯楽やコミュニケーションとしても踊られるようになりました。

口説き歌は、「鈴木主水」「八百屋お七」「阿波の鳴門巡礼」など、唄い継がれています。



奥条



横町商店街



沖之手



下垣内



市迫



春香園



女子畑



中切



水尻



赤向坂



跡条



小用(旧安登村)

おでかけ情報

9月	きらめき音楽館 9月20日(土) 11:00~ 入場無料 きらめきホール
	やすうらたんと塾(三津口探訪) 9月20日(土) 8:30~ 市民センター
	いなし安浦青空市 9月20日(土) 8:00~ いなしふれあい広場
	神神社大祭・權伝馬 9月27日(土)・28日(日) ※權伝馬は28日に開催 神神社ほか
10月	きらめき音楽館 10月11日(土) 11:00~ 入場無料 きらめきホール
	亀山神社秋季例大祭 10月11日(土)・12日(日) 亀山八幡神社
	いなし安浦青空市 10月18日(土) 8:00~ いなしふれあい広場
	勘定神社秋祭り 10月18日(土)・19日(日) 安登勘定神社境内
	弘法寺柴燈護摩供火渡り 10月19日(日) 野路山弘法寺境内

11月	くれんどハロウィンパーティー 11月1日(土) 11:00~ くれんど
	あそび場(くれんど) 11月1日(土) 13:30~ ボラーノ広場
	安浦町文化祭 11月1日(土)・2日(日) 安浦まちづくりセンター
	いなし秋穫祭 11月9日(日) 9:00~ いなしふれあい広場
	安浦えとこ祭り 11月15日(土)・16日(日) 10:00~ 安浦中学校グラウンド
	やすうら月の西行祭 11月22日(土) グリーンピアせとうち
	秋川雅史コンサート 11月23日(日) 15:00~ きらめきホール
	安浦友愛大学祭 11月28日(金)・29日(土) 安浦まちづくりセンター
	青少年ふれあいコンサート 11月30日(日) 12:00~ きらめきホール

12月	あそび場(くれんど) 12月6日(土) 13:30~ ボラーノ広場
	きらめき音楽館 12月13日(土) 11:00~ 入場無料 きらめきホール

中国自然歩道を歩こう!



この標識を見たことはないですか?
「中国自然歩道」は、中国5県を一周する総延長約2,303kmの長距離自然歩道です。コースは自然公園の地域や由緒ある社寺、天然記念物などの所在地を通り、急な山道や平坦な道など変化に富んだ道で結ばれています。この道はいろいろなルートで繋がっていますが、野呂山ルート(21km)、内海・仁賀ルート(42.2km)の一部が安浦町を通過しています。町内のコースをぶらぶら歩いてみましょう。

- 野呂山ルート 二級峠～二級峠公園～野呂山～弘法寺～三本松公園～三本松公園入口～内平～亀山神社(支線:野呂山～JR安芸川尻駅、三本松公園入口～森神社付近)
- 内海・仁賀ルート 亀山神社～女子畑バス停～安芸津町境～祝詞山八幡神社～(中略)～蟻ヶ平山(竹原市)

瀬戸内海国立公園 80年

～海に山に安浦にも国立公園がいっぱい!～

1934(昭和9)年、日本初の国立公園に指定された瀬戸内海。今年80周年を記念し、広島愛媛両県の「せとうちしまのわ2014」が開催されています。安浦では、昭和25年11月、野呂山と三津口湾が指定され、来年65周年を迎えます。

町内で国立公園に指定されているのは、海岸線と野呂山。中でも、三津口湾内の無人島群(柏島・小熊島・馬島・横島)と野呂山東南の三本松公園から弘法寺付近にかけての区域は、自然環境を守るための規制があります。「特別地域」に指定されています。皆さん知っていましたか?

安浦は国立公園がた～くさん!豊かな自然を後世に残しましょう!



- 柏島(かしわじま) 柏島神社があり、6月に大祭がある。一説には、馬島に停泊した高倉上皇のかしわ手の音がこの島に響き命名したと言われる。
- 小熊島(おごましま) 馬島近くの小島であることから、小駒(子馬)と言われたものが、いつしか小熊と呼ばれるようになった。
- 馬島(うましま) 周囲約2.7km、三津口湾で最も大きな島。源平合戦前、平清盛らとともに宮島に向かう高倉上皇一行が停泊した。
- 横島(よこしま) グリーンピアせとうち南方にある。江戸時代には藩の狼煙(のろし)を上げる火建山(ほたてやま)だった。

■野呂山(のろさん) 標高839.4mの膳棚山を主峰に、川尻・呉・黒瀬に広がる。弘法寺・馬の背・三本松公園や多くの自然が残る。

豆知識 国立公園とは?
日本を代表するすぐれた自然の風景地を保護するために開発などを制限し、自然と親しむ利用がしやすいように、自然公園法という法律により国(環境省)の指定を受け、管理されています。現在、全国で31箇所が指定され、面積は約210万ha、日本の国土面積の約5.6%を占めています。

安浦に オートキャンプ場がオープン!

1区画 9m×9m 車1台 5名まで可能



グリーンピアせとうちに新しい施設「オートキャンプ場」が7月19日にオープンしました。オートサイトは11区画で、車を横付けしてテントが張れる今流行のスタイル。

フリーサイトも30区画あります。場所は「こどもの国」に隣接し、海が見渡せます。

利用料には大浴場入浴券が付いてお得。まったりとキャンプライフを楽しもう!

- オートサイト 1区画¥4,980 フリーサイト 1区画¥3,980
 - チェックイン14:00～チェックアウト11:00まで
 - グリーンピアせとうち ☎0120-846-620 (フリーダイヤル)
 - お手軽なBBQセット¥5,980・キャンプセット¥3,500もあります。
- 期間 平成26年 11月30日(日)まで (翌年は4月から営業)

お問合せ
グリーンピアせとうち
☎0120-846-620



玉津サイクル

内海南 1-3-14 ☎84-2248

創業 明治35年
自転車のメカニシャン



6代目 武内秀雄さん (62才)

内海の横町商店街にある玉津サイクルは、明治35年「玉津自転車商会」として創業。以来112年続き、現在は6代目の武内秀雄さん(62才)が受け継いでいます。

明治時代、自転車は輸入品で、1台売れば1ヶ月はお店を閉めてもいいほど高価な物だったそうです。昭和30年代以降は子供も乗る時代になり、特に通学用の注文が多く、5代目の父正博さんは寝ずに部品を組み立てていたそうです。

物心がつく前から自転車やバイクに囲まれて育った秀雄さん。24才の時に正博さんの下で修行し、3年かけて何百種類もの工具の使い方を身に付け、当時珍しかったスポーツタイプを取り扱う資格も取得しました。その後、国体自転車競技選抜チームの整備士を13年間担当し、メカニックの才能を発揮しました。昭和51年に安浦サイクルスポーツクラブを結成し、近所の小中学生を連れて遠征し普及にも取り組みました。今はスポーツタイプの「ロードバイク」の販売が約8割を占めるなか、近所の方から競輪選手まで幅広く足を運びます。

「量販店の進出で、いかに独自性を出すかがカギ。他店で買われた自転車でも喜んで修理しますよ!」と秀雄さん。近い将来、息子さんも家業を継ぐ予定だそうです。プロ選手から主婦や子どもまで可愛がってもらえるお店を目指す、温厚で熱きメカニシャンは、大好きな自転車に囲まれ、忙しい日々を送っています。



場所も変わっていない現店舗



店内はロードバイクがズラリ



自転車を愛情込めて整備

写真でみる今と昔

安浦アーカイブ

時代とともに様変わりする景色や人々の暮らし、懐かしい風景を ご覧ください。

呉市立 内海小学校



交通安全教室の様子。周囲は田園が広がる。【昭和42年】



現在は県道矢野安浦線が通り、春香園などが建つ。

三津口深之浦 R185号



工事中の国道。当時、海岸沿いに道はなく船でしか行けなかった。【昭和37年】



現在は三原方面への大動脈となっている。